

- 1 単元名「本となかよし ～どくしょかいをひらこう～」
教材名「スイミー」

2 単元の目標

- ・読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。【知識及び技能】(3)エ
- ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結びつけて、感想をもつことができる。
【思考力、判断力、表現力等】C(1)オ
- ・読書会への意欲を高め、積極的に友達と話し合い、作品について自分の考えをもとうとする。
【学びに向かう力、人間性等】

3 指導事項に合致した言語活動とその特徴

指導事項に合致した言語活動として「読書会を開き、作品に対する感想をまとめる活動」を位置付けた。今回の学習では、リテラチャーサークルを行う。読書会を開き、作品に対する感想をまとめるためには、様々な読みの視点からその作品を読む必要がある。今回は、リテラチャーサークルの中で4つの役割(表現・思い出し・疑問・イラスト)で読むことにより、様々な読みの視点で作品を読んでいく。4つの読みの視点で読んだことをもとに、本を読んだ感想をまとめる。この言語活動を位置付けた学習活動を展開することで「文章の内容と自分の体験とを結びつけて、感想をもつ」という目標を達成することができる。

4 単元について

(1) 教材観

教材文「スイミー」は、海の中のお話であり、小さな魚たちの中で一匹だけ色の違う主人公のスイミーと仲間たちが協力し、大きな魚に立ち向かう物語である。知恵と勇気をもって、大きな魚に立ち向かっていくスイミーは、児童にとってあこがれとなり、自分と重ね、わくわくしながら読むことができる作品である。また、起承転結がはっきりしたわかりやすい場面の展開によって、読者である児童を引き付ける作品でもある。

本単元では、作品「スイミー」を通して、本を読むことの楽しさに触れさせていく。1年生の発達段階でも、簡単に楽しく読める絵本(14ひきシリーズ)を選出することで、本を読むことが苦手な児童にとっても、絵を楽しむことからお話の中に入っていきることができると思う。

(2) 児童の実態

「読むこと」の意識調査の考察や、記述することについての実態調査は、省略させていただきます。

(3) 指導観

<研究仮説について>

学んだ知識や自分の体験を振り返ることを積み重ね、つけたい力を明確にして言語活動を行えば、自分の考えを形成し表現できる児童になるだろう。

本校の研究仮説を検証するために、以下の3点に取り組む。

① 学習の計画を立て、毎時間の振り返りを行う。

「学んだ知識や自分の体験を振り返ることを積み重ねる」ために、計画を立てて学習に取り組み、毎時間の振り返りを行う。振り返りでは、この時間で「できるようになったこと」はどんなことなのか、この時間の学習を通して「思ったことや感じたこと（気持ち）」の2つに分けて、振り返らせる。そうすることで、自分に身についた力をメタ認知し、次の学習に生かしていけるだろう。

② つけた力を明確にして言語活動を行う

本を読むときの楽しみ方として、今回は4つの読む視点（この文いいな・どうして?・自分と同じ・想像した絵）を設け、読書会を行っていく。これからたくさんの本に親しみながら、感想をもち、友達と楽しさを共有できるようにしていきたい。

また、前単元で感想の書き方を指導している。本単元では、前単元でつけた力を使って感想にまとめしていく。

③ つけた力を定着させるための継続した取り組み

本を読んで感想をまとめる力を定着させていくために、読書ノートに感想を書く活動を継続して取り組んでいく。同じ本を読んだら、友達と感想を話し合う場を設け、リテラチャーサークルの楽しさを継続して味わわせていくようにする。

<単元について>

本単元では、リテラチャーサークルを通して、本に対する感想をまとめる活動を行う。リテラチャーサークルとは、同じ文章や本を読む際に役割を決めて読み、その役割に基づいて話し合いを行う方法である。本単元で行うリテラチャーサークルは、役割を「この文いいな」「どうして?」「自分と同じ」「想像した絵」の4つとした。児童一人一人が4つすべての役割をワークシートにまとめていき、感想をもつことへと繋げていく。

第一次では、リテラチャーサークルを行い、読書会を開き感想にまとめることを目標に学習の計画を立てる。教師見本を示すことで、学習の見通しをもたせ、この学習でどんな力をつけたらいいのかゴールを明確にする。

第二次では、個別最適な学びの第一歩を目指し、自分で計画を立ててリテラチャーサークルに取り組んでいく。「スイミー」のお話を「この文いいな（表現）」「どうして?（疑問）」「自分と同じ（思い出）」「想像した絵（イラスト）」の4つの読む視点で読み進め、読書会の準備を行う。1枚のワークシートを4つの枠に分けて使うことで、読み進めていくと、少しずつ枠が埋まっていくことから視覚的にも達成感を味わえるようにする。読書会では、リテラチャーサークルで書いたワークシートを用いて、友達と話し合いをする。自分と同じところや違うところはどこかを意識しながら、共有させたい。リテラチャーサークルでまとめたことや話し合いをしたことを通して、「スイミー」のお話に対する感想をまとめていく。

第三次では、並行読書していた「14ひきシリーズ」の中から、自分が読みを深めたい本を選ぶ。選んだ本で、自分で計画を立ててリテラチャーサークルに取り組んでいく。第二次で身につけた力を生かして、学習に取り組めるようにしたい。まとめとして、また読書会を開く。今回は、本の内容に対しての感想をまとめるために、同じ本を選んだ友達と話し合いをする。最後に、感想を全体で共有することで、まだ読んでいない本を「読んでみたい」という気持ちをもたせられるようにし、読書活動への意欲付けをしていきたい。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができている。(3)エ	① 「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。C(1)オ	① 読書会への意欲を高め、積極的に友達と話し合い、作品について自分の考えをもとうとしている。

6 指導と評価の計画(10時間扱い)

学習過程	時配	学習内容・学習活動	評価規準・評価方法等
一次 (見いだす)	1	・教師見本を見て、読書会を開くための見通しをもち、学習の計画を立てる。	[主体的に学習に取り組む態度] ① <振り返り>
二次 (自分で取り組む) (広げ深める)	2	・自分で、作品「スイミー」を読むペースやどの役割から取り組むのか計画を立てる。	[主体的に学習に取り組む態度] ① <態度>
	3	・読書会の準備をする。 「スイミー①」	[思考・判断・表現] ① <ワークシート>
	4	・読書会の準備をする。 「スイミー②」	[主体的に学習に取り組む態度] ① <態度・振り返り>
5	・「スイミー」について、読書会を行う。 ・話し合いを通して、作品「スイミー」に対する感想をまとめる。	[思考・判断・表現] ① <発言・ワークシート>	
三次 (まとめあげる)	6	・どのお話を読みたいか決め、グループを作る。 ・自分で、作品を読むペースやどの役割から取り組むのか計画を立てる。	[知識・技能] ① <振り返り>
	7	・読書会の準備をする。 「選んだ本」①	[思考・判断・表現] ① <ワークシート>
	8	・読書会の準備をする。 「選んだ本」②	[知識・技能] ① <ワークシート・振り返り>
	9 (本時)	・選んだ本についての読書会をグループで行う。 ・話し合いを通して、作品に対する感想をまとめる。	[思考・判断・表現] ① <発言・ワークシート>

並行読書『14ひきシリーズ』

	10	・学習の振り返りを行う。	[主体的に学習に取り組む態度] ① <振り返り>
--	----	--------------	-----------------------------

7 本時の指導 (9/10)

(1) 本時の目標

- ・選んだ本の文章の内容についての感想をもつことができる。

[思考力、判断力、表現力等] C (1) オ

(2) 展開

過程 時配	学習内容と学習活動	指導・支援 (○) と評価 (◇)	備考
導入 (見出す) 3分	1 前時の学習を振り返る。 2 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> ④どくしょかいをして、おはなしについてのかんそうをまとめよう。 </div>	○読書会の準備をしてきたことを振り返ったり、学習の計画を見たりし、本時の見通しを持たせるようにする。	学習計画 掲示物
展開 5分	3 読書会のやり方・約束を確認する。 ・話すことを1つ決める ・話したことについて友達に聞く	○約束を確認し、友達の考えに関心を持ち、意見を言ったり、質問をしたりできるようにする。 ○話し合いをする際には、自分の考えと同じところや違うところ、似ているところに着目しながら聞くように指導する。	反応の言葉 掲示物
(広げ 深める) 12分	4 グループで読書会を行う。	○話し合いが進んでいないグループには、話し合いが円滑に進むよう、話し方や質問の仕方を確認し、教師が声をかける。 ○友達の考えに対して、反応が少ないグループには、教師が反応の手本を示す	役割 ワーク シート
15分	5 読書会で話し合ったことをもとに、作品についての感想をまとめる。	○リテラチャーサークルのワークシートに書いたことをもとに、感想を書くよう指導する。 ○友達の考えを書きたい児童には、書くように促す。 ○手がとまってしまう児童には、リテラチャーサークルのワークシートを見ながら、書けるよう支援する。 ○書き終わった児童から、教室後方で感	感想 ワーク シート

<p>まとめ (まとめあげる) 10分</p>	<p>7 今日の学習の振り返りを行う。</p>	<p>想の読み合いするよう指導し、自分が読んだことのない本に興味をもてるようにする。</p> <p>◇選んだ本の文章の内容についての感想をもっている。 [思考・判断・表現] C (1) オ</p> <p>○読書会を通して、自分にどんな力が身についたかを考えさせる。また、友達との話し合いがどうだったか感想をもたせるようにする。</p>	<p>学習計画</p>
---------------------------------	-------------------------	---	-------------

(3) 板書計画

<p>ふりかえり</p> <p>○できるようになったこと</p> <p>○きもち</p> <p>・がんばったこと ・うれしかったこと</p> <p>・たのしかったこと ・むずかしかったこと</p>	<p>感想の教師見本</p>	<p>感想の教師見本</p>	<p>② はなしたことについてともだちにきく</p> <p>① やりかた はなすことをいつきめる</p> <p>④ 学どくしよかいをして、おはなしについてのかんそうをまとめよう。</p>
--	----------------	----------------	---

(4) 評価

<p>Aと判断する状況の例</p>	<p>・リテラチャーサークルのワークシートをもとに、選んだ本についての感想をまとめ、読書会で友達と共有したことについても書き、読みを深めようとしている。</p>
<p>Bと判断する状況の例</p>	<p>・リテラチャーサークルのワークシートに書いたことをもとに、選んだ本についての感想をまとめている。</p>
<p>Cと判断する状況と手立ての例</p>	<p>・読書会で、話し合いに参加することができない。 ・感想にまとめることができない。 →読書会で、話し合いに参加ができるよう、個別に声かけを行う。個別に思ったことや考えたことを問いかけ、感想にまとめられるようにする。</p>

